

受領No.1567

## 受験産業のデジタルトランスフォーメーションと 学習文化の変容: EdTech 時代の受験勉強

代表研究者 藤村 達也 京都大学 大学院教育学研究科 助教

### Digital Transformation of Learning Culture and Private Tutoring Industry in the EdTech Age of Japan

Representative Tatsuya FUJIMURA, Graduate School of Education, Kyoto  
University, Assistant Professor



#### 研究概要

2010 年代以降、教育の領域では EdTech（教育におけるテクノロジーの利用）の導入が学校内外で急速に進行し、近年では新型コロナウイルス感染症の流行を受けて政策的にも重要な位置づけを与えられている。本研究は、教育学の視点に加えて社会学・メディア論・哲学を中心とした学際的なアプローチを用いて受験産業における EdTech の導入プロセスとその特徴を検討し、テクノロジーが学習文化をいかに変容させるのかを明らかにする。その際、従来の対面授業や紙メディアが形成していた学習文化との比較を行うことで、EdTech の導入により変容しつつある現代の学習文化が、従来の学習文化といかに異なっているのかを歴史的な視点から解明する。これにより、技術論に偏向し社会的・文化的・歴史的な観点を看過してきた EdTech をめぐる議論に新しい視座を提示し、EdTech が日本社会において有するインパクトを従来とは異なる角度から示す。加えて、国際的な受験産業研究の動向に対しても、日本社会の歴史・文化的固有性を踏まえた精緻な研究を提示することで、欧米中心主義的な議論を相対化することを目指す。